

公民館報 新習志野

公民館報 / 新習志野
編 集 / 館報編集委員会
発 行 / 新習志野公民館
指定管理者 株式会社オーエンス
習志野市秋津3-6-3 TEL453-3400
<http://sinnara-kominkan.net/>

新たな仲間と 新たな気持ちで

今年度から弊社(株)オーエンスが、新しく市内の3つの公民館を指定管理することになりました。その関係で、新習志野公民館でも次の通り職員の転出入がありました。

【転出】

- ◇西端亜矢 袖ヶ浦公民館へ
- ◇長嶋正代 谷津公民館へ

【転入】

- ◇村松雅子(令和3年2月より勤務)
- ◇倉信雅子



新習志野公民館スタッフ全員集合

【新職員挨拶】

4月より新習志野公民館に勤務することになりました館長補佐の倉信雅子です。新習志野公民館がある七中学校区は、以前教員として勤務していたこともあり、とても身近な中学校区です。環境が良く住みやすい素敵な地域だと思います。

また福祉関係の施設も充実し、中学校の職業体験では生徒がお世話になりました。私は3月で定年退職し、お世話になった地域の皆さんへ感謝の気持ちをもって勤めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

倉信 雅子
くらのぶ

さて、昨年度は新型コロナウィルスの影響で臨時休館からスタートした1年でした。再開後も活動自粛を余儀なくされている団体や来館を遠慮する方々などが多く見受けられました。公民館の主催事業も、感染防止対策を十分にとった上で実施したものの、新習文化祭や海辺のコンサート、新習ふれ愛まつりなどの大きなイベントはことごとく中止になりました。

令和3年度になり1か月が過ぎました。今年度は、できることを最大限に駆使して新しいスタイルでの各イベントを実施して参りたいと思います。

新しい仲間とともに、気持ちも新たに公民館運営に努めています。

新習志野公民館 館長 平山 宣尚

2月よりお世話になっております村松雅子と申します。主に子育て中の方に向けた講座を担当いたします。

受付にいるとサークルの方々が趣味や学習に熱心に取り組まれ、帰りには笑顔でお帰りになる姿をよくお見かけします。そんな風に、公民館に来た方の心が少しでも軽くなり笑顔で帰れるような講座作りを心がけていきたいと思います。地域の方と交流できることを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

村松 雅子

サークル探訪

★木彫はなみずき★ 木彫

「友人に誘われてなんとなく入会してから、かれこれ20数年」「退職して何か手工芸をやりたくてたまたま見た広報で、はなみずきを知って入会した」「もともと木彫経験があり入会」と会員のみなさんの入会理由は様々です。

型紙を木に転写し、そこから木彫の始まり。写真立てや手鏡、出来上がるまでに半年から一年かかる大作もあるとのこと。

講師の真鍋道先生の彫刻刀を動かす姿を真剣な眼差しで見て、自分の作品にいかしていく姿が印象的でした。作品は次回の新習文化祭で発表するそうです。今年こそは皆さんの素敵なお作品が見られるとよいですね。

【活動日時】第1,3水曜日 午後1時～午後5時
☆会員募集中。



アウェイク awakeトレーニング



女性の健康と美容(ボディメイク)に正しい情報と運動指導を提供していきたいという桑島佐和子トランナーの元、幅広い年代の女性が集まって活動されています。トレーニングを習慣化させたいとコロナ禍に始めたオンラインと公民館利用を併用して活動されているとのこと。参加者からは、身体は何歳からでも向上して行くという前向きな姿勢を感じられました。

★花の会★ フラワー・アレンジメント



花のかおりに誘われて研修室に入ると、ラナンキュラス、スプレーカーネーション、フリージア、スイトピー、アイリス、レザーファン、柳など色とりどりの花材を使って一心不乱に生けている「花の会」の皆さんのお姿がありました。作品が出来上がると一人ひとり、相川貢造先生が丁寧に指導されています。

「花の会」は新習志野公民館開館当初から活動しているサークルです。代表の星島さんは「発足時からいる人、新しい人も和気あいあい、楽しく活動しています。今は、コロナ禍でマスクをして黙々と生けていますが本来は談笑しながらです！家に持ち帰り生け直すと、部屋が明るくなり気分も華やぎます」と話していました。

【活動日時】第2,4土曜日 午前10時～正午
☆会員募集中。



【活動日時】第1,3,5水曜日 午後1時15分～
2時30分
☆会員募集中



土井 真樹



地域の繋がりには様々な種類がありますが、ママ友やお茶友達等、女性のイメージが強い中、私の周りには「パパ友」なる繋がりがあります。秋津まつりの山車制作から始まったパパ友は、野球・マラソン・サイクリングと趣味の繋がりに広がり、私はサイクリングで交流しています。週末に時間を合わせて周辺を走り、ときには電車や車に自転車を乗せ、海や山へ出かけることも楽しみです。年齢やスキルに違いがあり、仲間に迷惑をかけることもありますが、たどり着いた先で見る景色は最高です(その後の一一杯も楽しみのひとつ)。

目的地は直江津までの旅レベルから、江ノ島や房総半周の小旅行など様々。銚子まで行く予定が追い風に乗って水戸まで行ったことも…。また、幕張海浜公園でのレースにチームを組んで出場したこともあります。

地域のコミュニティのメリットは発着地が一緒なので、待ち合わせ時間に余裕ができること、工具の貸し借りなどの困ったことも気軽に頼めるところです。この繋がりは大人の部活動として今後も大切にしたいと思います。

～山口県周防大島～

中山 博之



私は兵庫県神戸市の生まれですが、太平洋戦争が激化したため、疎開することになりました。母のふるさとである山口県周防大島で4才から11才まで過ごすことになりました。

周防大島は「瀬戸内海のハワイ」と言われているそうです。それは明治18年から10年間、ハワイに開拓移民が送られ、今日に至っているからです。また昭和38年にはハワイ州カウアイ島と姉妹都市を結んでいます。

周防大島はミカン、サツマイモ等の栽培も盛んで、海洋レジャー、地曳網、魚釣りも楽しみのひとつです。私も学校から帰ると、野山を駆け回り、海では魚釣り、地曳網もよくやりました。夏になると一日中海で遊んでいたことが思い出されます。同窓生と子ども用小舟を漕いで夜にイカ釣りをしたことも楽しい思い出です。ただ、通学が片道1時間かかったことは辛かったです。

青い海、白い砂浜が美しく夜空の満天の星がすばらしいふるさとです。私の心のふるさと、周防大島を数回訪ねています。元気なうちにもう一度訪れたいと思っています。

リニューアル！新習花壇

荒れかけていた花壇を小高相談員はじめ公民館職員が一年かけて作り替えました。花壇の柵を新しく整え、中を7つのブロックにして苗を植えました。いつも皆さまの目を和ませられるよう花壇を守っていきます。

土を耕し苗を植える
関吉・斎藤



手作りの柵にペンキを塗る
平山館長と小高相談員

春本番



お知らせコーナー

～From 公民館～



編集委員
が行く
To 七中花壇



新習志野公民館はコロナ禍に負けず、令和3年度前期講座を予定しています。

前期講座	
◇子ども講座	結びの講座(ひも・リボン) 6/26(土) 科学講座 7/4(日) 子ども陶芸 7/31(土)・8/14(土)・8/27(金) パソコン分解 8/19(木)
◇ザ・チャレンジ	ぬりえ・工作 他 6/5(土)・8/24(火)・9/25(土)
◇アウトドア体験	ネイチャーゲーム 他 7/27(火) [予備日7/29(木)]
◇ユースリーダー養成講座	6/19(土)～全10回
◇生活悠々講座	コンディショニングストレッチ(ピラティス) 6/16・6/30(各水曜)全2回
◇歴史講座	下総三山七年祭りを学ぶ 6/10・6/24(各木曜)全2回
◇子育てリフレッシュ講座	アイシングクッキー 7/13(火) 野菜ソムリエとクッキング 9/30・10/7(各木曜)全2回
◇寿学級	月2～3回水曜日
◇いきいき講座	身体づくり・脳トレ・ボイトレ 6/5(土)～全3回

詳細はホームページ、広報習志野、チラシ、電話等でご確認ください。(講座によっては、すでに申込みが始まっているものもあります)

☆新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために事業の中止、内容の変更をする場合があります。最新の情報をホームページ、広報習志野チラシ、電話等でご確認ください。

H P <http://sinnara-kominkan.net/>

TEL 047-453-3400

FAX 047-452-3090

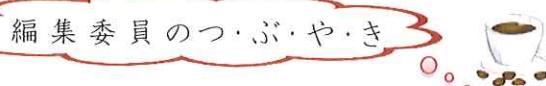
七中正門脇の花壇に色とりどりの花が咲いています。ボランティアで花壇整備をしてくださっているのは近くに住む大内さんご夫妻。雑草や根っこをきれいに取り除き、種から育てた花を季節ごとに植え替えるなど、愛情いっぱいの花壇は道行く人々の目を楽しませてくれています。

また、中庭の花壇はボランティアの徳竹さんと玉井さんが、学校行事に合わせて手入れや植え替えをしてくださっています。

整った花壇で生き生きと咲く花たちは、明るく元気な七生の姿と重なります。地域のを感じる七中花壇、学校にお越しの際には是非ご覧になってください。



七中中庭花壇 大内さんご夫妻



またコーヒーの話。40数年前に購入した水立てコーヒーメーカーは8時間以上水に浸して抽出する「浸漬式」で、自分で滴下速度が調整でき、マイルドコーヒーからハードコーヒーまで自分好みのコーヒーを淹れることができる。私は1秒間に2滴が好みで、雑味のないすっきりとした甘みのあるコーヒーになる。

早朝からセットし、友人とランチをとりながらおしゃべりを楽しんで、おいしいケーキがお皿にのる頃コーヒーもできあがる。それを温めて飲む。まさに至福のときである。

コロナ禍、友人とはもう1年2か月会っていない。